

## 世界遺産へ向けて

### 文化庁審査結果(その2)

10月9日に「霊峰白山と山麓の文化的景観」の審査の詳細が文化庁から報告されました。審査は国内を代表する専門家からなる「文化審議会世界遺産特別委員会」でなされ、「白山」の提案は、「世界に誇れる資産である」との証明が全体的に不十分であるとのことでした。

しかし、唯一勇気づけられたことがあります。文化庁担当者のお話によると「委員の高い評価を得ていたのは国史跡平泉寺でした」とのことです。

## ほっぷど 平泉寺こぼれ話

～第2話～

### 平泉寺と一乗谷(その1)

平泉寺の発掘調査は、平成元年から始まり、今年で20年目を迎えました。一方、一乗谷朝倉氏遺跡は、昭和42年に調査が始まり、今年で41年目を迎えています。この間、一乗谷では資料館がオープンし、町並み立体復元が完成しました。

一乗谷朝倉氏遺跡は、調査と整備において平泉寺より20年以上先輩であるといえます。

次号へつづく…

国史跡平泉寺の整備情報誌

# 平泉寺かわら版

No. 2 (2008年11月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成20年11月27日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電話:0779-88-8113(直通)

メール:shiseki@city.katsuyama.fukui.jp

## 今号の内容

### 特集・菩提林の入口は

### どうなるの? (2、3面)

連載

- ◎世界遺産へ向けて
- ◎平泉寺こぼれ話～第2話～
- ◎発掘現場通信

## 発掘現場通信

～調査のポイント～

### 現る!? 平泉寺「西蓮院」

10月より、平泉寺白山神社の南に広がる、「南谷」の一番奥にある坊院(お坊さんの屋敷)跡を発掘調査しています。ここは、東西40m、南北70mのたいへん広い場所で、平泉寺白山神社がお持ちの絵図「中宮白山平泉寺境内図」に描かれた「西蓮院」だと考えています。



西蓮院跡に残る建物の基礎石  
…大きな基礎石があります。どんな建物だったのかな?

今号表紙の写真は、坊院の出入口から続く石畳道が発見された直後の様子です。落ち葉を払って土を数センチメートル掘ると出てきました。これは、坊院の中心となる建物に向かって続く石畳道だと思います。絵図にひときわ大きく描かれている西蓮院。おそらく平泉寺の中でもかなり力を持ったお坊さんだったと思います。400年たっても整然とならぶ石畳道に立つと、お坊さんたちが今にも歩いてきそうな錯覚を覚えてしまいそうです。



西蓮院跡出入口にある階段の調査  
…右側に階段と石垣が出てきました。急斜面での作業はたいへんです。



平泉寺最大級の坊院「西蓮院」跡で見つかった中世の石畳道。速報は4ページへ。

# 菩提林の入口は どうなるの???

今回は、平泉寺荘の東側にある、平泉寺旧参道(菩提林)の入口の整備についてお話ししたいと思います。

## 平泉寺 -the Entrance- の正面玄関。

国道157号線から県道平泉寺線を登ってくると、整然とした杉並木が見えてきます。県道と平泉寺旧参道が交差する場所は、「中宮白山平泉寺境内図」(平泉寺白山神社蔵)に描かれている「下馬大橋」のあった場所で、平泉寺の“正面玄関”といえます。



現在の下馬大橋



## 菩提林を -the Base- 堪能する拠点。

下馬大橋南東側の数年前まで測量会社事務所があった所は、菩提林を歩いて平泉寺白山神社を参詣したり、史跡平泉寺をすみからすみまで散策できる拠点=「史跡エントランス」とします。見学広場やトイレ、案内板を設置する計画です。

菩提林の杉並木は、圧倒的な存在感があり、平泉寺を訪れる人たちが一番はじめに感動を覚える場所です。

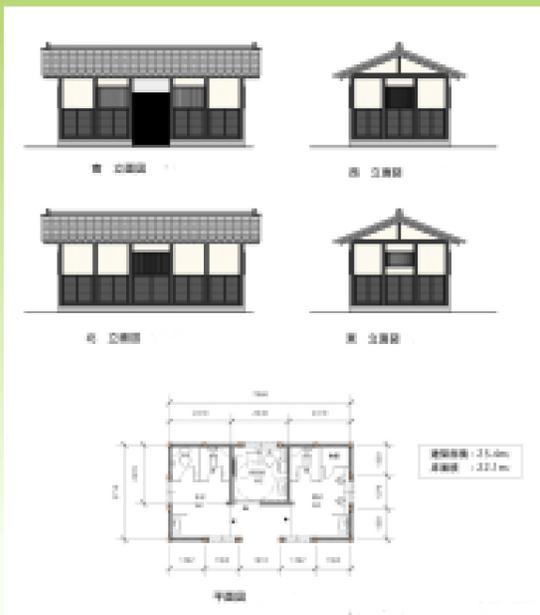
この場所の整備は、菩提林の雰囲気をも十分に生かすことのできるような景観を考えていく必要があります。



史跡エントランス整備計画地

## このようなものを かんがえています

史跡全体が分かる案内板です。木製で景観にあったものを考えたいと思います。



トイレのデザインです。木造平屋建てを考えています。平泉寺白山神社や集落、史跡のイメージと合った、清潔で使いやすいトイレを目指します。

まだ案の段階ですので、デザインはこれから変わっていくかもしれません。